

RXC07-29 ドラム缶スタンド 取扱説明書

この度は、RXC07-29 ドラム缶スタンド をお買い上げいただきありがとうございます。必ずこの「取扱説明書」の内容をよく読み理解した上で、本製品を安全にご使用ください。また、いつでも読むことができるように大切に保管してください。



警告

下記内容をお守りください。重大な事故や死亡または重傷を負う可能性があります。

- ・ 本製品は、200L 鉄製ペール缶を水平姿勢で保管および移動する工具です。ドラム缶にコック（別売）を取り付けることでドラム缶のスタンドとしても使用できます。目的以外の使用を絶対にしないでください。
- ・ 200L（55 ガロン）の鉄製ドラム缶に適応しています。他の容器には使用しないでください。
- ・ 床に直立しているドラム缶に対して使用してください。パレットや台車等から使用しないでください。
- ・ 本製品にドラム缶を載せた状態で移動するときは、ゆっくりと動かしてください。
- ・ 硬質かつ平坦な床上で使用・保管してください。傾いた床では使用しないでください。
- ・ 本製品を改造・分解しないでください。
- ・ 子供の手の届く場所に保管しないでください。

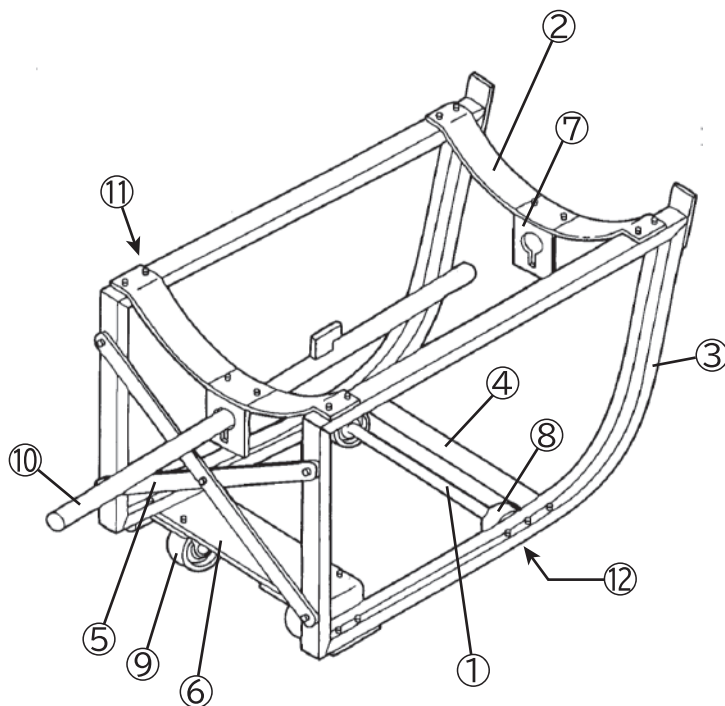


注意

下記内容をお守りください。負傷や物的損害の可能性あります。

- ・ ドラム缶を水平姿勢にする前に、ドラム缶の栓またはコックが閉まって漏れないことを確認してください。
- ・ ドラム缶内の油類または溶剤の説明書きをよく理解した上で使用してください。
- ・ 使用前に各部点検し、損傷・変形等の異常がある場合は使用せずお買い上げの販売店に修理依頼をしてください。

■ 各部名称



No.	部品名	個数
①	車軸	1
②	ドラムスリング	2
③	サイドフレーム	2
④	ボトムクロスバー	1
⑤	クロスバー	2
⑥	スイベルキャスターブラケット	1
⑦	ハンドルブラケット	2
⑧	ホイール(3")	2
⑨	スイベルキャスター(3")	2
⑩	ハンドル&フック	1
⑪	ボルト・ナット・ワッシャー(35セット)	1
⑫	車軸クランプ	2

■ 仕様

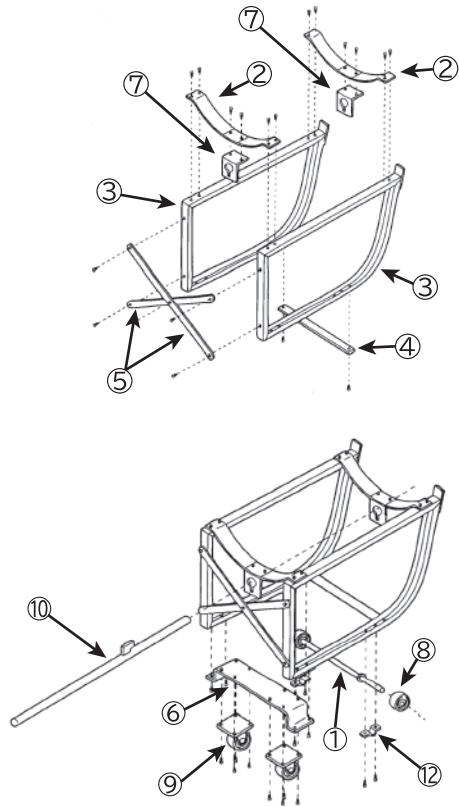
耐荷重：300kg

本体重量：17.5kg

本体サイズ：L810×W500×H475mm

ハンドル長さ：910mm

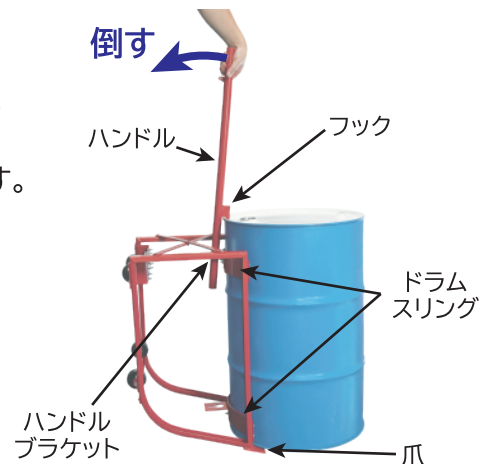
■ 組み立て *イラストを参考に組み立ててください。



- ⑦ハンドルブラケットを②ドラムスリングにボルト・ナット・ワッシャーで固定します。*計 2 個
- ②ドラムスリング 2 個を③サイドフレーム 2 個にボルト・ナット・ワッシャーで固定します。
- ⑤クロスバー 2 個を組み立てたサイドフレームにボルト・ナット・ワッシャーで固定します。
- ④ボトムクロスバーをボルトで固定します。
- ⑧ホイール 2 個を①車軸に通します。本体を逆さにして組み立てた車軸をサイドフレームに⑫車軸クランプとボルト・ナット・ワッシャーで固定します。
- ⑨スイベルキャスター 2 個をスイベルキャスター⑥ブラケットにボルトで固定します。
- 本体を車輪が下になるように戻し、本体フレームができるだけ四角になるようにボルトを締め直して調整します。
- ⑩ハンドル & フックをハンドルブラケットに収納したら完成です。

■ 使用方法

- ハンドルブラケットに収納してあるハンドルを本体から取り外します。
- 床に直立しているドラム缶の横に本製品を垂直に立てます。
- サイドフレームの爪 2 か所をドラム缶を少し持ち上げ、底に挟みます。
- ドラム缶をドラムスリングに接触させてドラム缶のふちをハンドルのフックに引っ掛けます。この時、ハンドルを手前のハンドルブラケットに通してください。
- ハンドルを両手でつかみ、てこの原理でゆっくりと引き、本製品とドラム缶が水平になるまで引きます。
- タイヤが接地し、ドラム缶が本製品に安定して乗っていることを確認したらハンドルをハンドルブラケットに収納します。



- ドラム缶のスタンドとして使用する場合、直立したドラム缶にコックをセットしてからコックを本体側に向けてドラム缶を水平にするとコックが下側になります。
- 移動する場合、ドラム缶が安定して載っていることを確認してからゆっくりと移動してください。



■ メンテナンス

- 定期的なボルト・ナットの緩みを確認し、緩んでいたら増し締めしてください。
- 定期的な本体各部・ハンドル等に損傷や変形がないか確認してください。損傷がある場合はお買い上げの販売店に修理依頼をしてください。
- 汚れが付着した場合は、湿らせた布でふき取ってください。

